

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_インテリアデザインⅢ\_田淵・成瀬.xlsx

科目のねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	産学連携授業では、クライアントの要望を受け業界や環境を調査し、広義におけるデザインの提案を行う。地域のフィールド考察を行い、その地域に潜在的に存在する課題や求めているものを読み解く。ソフトとハードの両面から空間デザインの提案をクライアントへ向けてプレゼンテーションする。実社会に向けた提案を行うことで、デザインの社会的意義、職能を学ぶ。	プリント配布、一部資料はGoogleドライブ内に格納	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。空間デザインは物理的な箱の他、多くの条件を読み解き、ハード、ソフト両面から提案していくものである。今回、【あいち豊田農業協同組合様】にご協力いただき、実際に存在するフィールド、クライアントを意識した空間の設計及び提案を行う。	【専門知識スキル】1.【材料】の持つ魅力や特性、社会における問題点を掘り起こすことができるようになる。2. 実社会に対して提案を行うことで、ハード・ソフト両面から広義としての空間デザイン力を習得する。3. 専門家でない一般の方に対して提案を伝える力を習得する。【社会人基礎力】1. 考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力) 2. 前に踏み出す力(主体性、働きかけ力、実行力) 3. チームで働く力(発信力、傾聴力、柔軟性、情報把握力、規律性、ストレスコントロール力)。実在するフィールド、クライアントを意識することで主体的に行動し、発信しながら、テーマの課題について考察し、自分なりの回答、提案を見出しうる力を身につける。	【受講ルール等】:資料プリントを配布する。前半課題は調査資料(レポート)を作成、発表する。後半課題は図面、プレゼン資料を作成し、発表する。【評価の観点】:創作した作品(表現、独創性、スケール感、発想力、明快なコンセプト等) 1. 提案までのプロセス 考え方の明快さ。 2. プrezentation(説明のわかりやすさ、工夫、積極性)【その他】:学外特別講師による講義も適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	《4/16田淵01》講義計画書の説明、課題の説明、グループワークについて、グループワーク内の担当決め、課題の下準備	本課題の製作に向けた、調査の方法や、資料の収集方法、作図方法、プレゼン資料の構成について説明を行い、その方法に当りをつける。	授業の目的を理解し、事前準備を行う事で計画力を身に付ける。	1. 考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力) 2. 前に踏み出す力(主体性、働きかけ力、実行力) 3. チームで働く力(発信力、傾聴力、柔軟性、情報把握力、規律性、ストレスコントロール力)	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック		
2	《4/16成瀬01》課題の下準備、議論、調査、研究	〃	〃	〃	〃		
3	《4/23田淵02》課題の下準備、議論、調査、研究	次回提出予定のレポートの準備。基本となる知識を身に付ける。自ら調べること、それぞれが調べた情報を共有することで、より深い知見を獲得する。	授業の目的を理解し、事前調査・研究を行う事で計画力を身に付ける。	〃	〃		
4	《4/23成瀬02》現地視察	クライアントよりAあいち豊田本店でご説明ののち、現地となる、とよたエコフルタウン跡地を見学。	授業の目的を理解し、現地の調査を行う事で観察力を身に付ける。	〃	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】筆記用具、コンペックス、作成資料、ノートパソコン、スケッチブック、カメラ(携帯可)		
5	《4/30田淵03》現地視察後の調査資料まとめ	知り得た情報をまとめる力を身に付け、考察する力を習得する。	発表に向けて資料をまとめる力を身に付ける。	〃	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】筆記用具、作成資料、ノートパソコン、スケッチブック		
6	《4/30成瀬03》調査資料(レポート)の発表	知り得た情報をまとめ、現地視察を通じて感じたことと調査内容の発表	まとめた内容をグループで発表する力を身に付ける。	〃	〃	調査資料(レポート)の提出	

7	《5/07田淵04》中間プレゼンテーション資料作成1	調査・研究を元にコンセプトを立案。設計条件を基にエスキスを進める。	中間プレゼンテーションに向けて計画する力を身に付ける。チームでディスカッションし、協力しながら、提案を強化できる力を身に付ける。	〃	〃		
8	《5/07成瀬04》中間プレゼンテーション資料作成1	〃	〃	〃	〃		
9	《5/14田淵05》中間プレゼンテーション資料作成2	平面プラン ラフ案のチェック	中間プレゼンテーションに向けてまとめる力を身に付ける。チームでディスカッションし、協力しながら、提案を強化できる力を身に付ける。	〃	〃		
10	《5/14成瀬05》中間プレゼンテーション資料作成2	平面プラン ラフ案の提出	チームの考えを形に落とし込み、提案を人に伝える力を身に付ける	〃	〃	ラフ案の提出	
11	《5/21田淵06》中間プレゼンテーション資料作成3	インプットからアウトプットまでのプロセスをまとめ、企画書としてまとめる。	プレゼンテーションに向けて資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	〃	〃		
12	《5/21成瀬06》中間プレゼンテーション資料作成3	〃	〃	〃	〃		
13	《5/28田淵07》中間プレゼンテーション資料チェック、最終調整	中間プレゼンテーションに向けて資料をブラッシュアップする。	〃	〃	〃		
14	《5/28成瀬07》中間プレゼンテーション	クライアントに参加いただき、中間プレゼンテーションを行い、講評をいただく。	調査資料を基に、コンセプトを提案し、まとめ、伝えることが出来る。	〃	〃	プレゼン資料提出、発表	
15	《6/04田淵08》中間プレゼンテーション資料作成1	中間プレゼンテーションのアドバイスを受け、プランニングを進める	受けたアドバイスを反映し、プランに落とし込む力を身に付ける。	〃	〃		
16	《6/04成瀬08》中間プレゼンテーション資料作成1	〃	〃	〃	〃		

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_インテリアデザインⅢ\_田淵・成瀬.xlsx

17	《6/11田淵09》最終プレゼンテーション資料作成2	設計したものを高い精度で図面化、三次元化し、スケール感や機能性、デザイン性をブラッシュアップする。	プランニング、ハード・ソフトの両面から空間を設計する力を身に付ける。	"	"		
18	《6/11成瀬09》最終プレゼンテーション資料作成2	"	"	"	"		
19	《6/18田淵10》最終プレゼンテーション資料作成3	プランニング、3Dモデリング、サインデザイン、他付帯デザインのブラッシュアップ、資料のアウトプット	"	"	"		
20	《6/18成瀬10》最終プレゼンテーション資料作成3	"	"	"	"		
21	《6/25田淵11》最終プレゼンテーション資料作成4	"	"	"	"		
22	《6/25成瀬11》最終プレゼンテーション資料作成4	"	"	"	"		
23	《7/02田淵12》最終プレゼンテーション資料作成5	プランニング、3Dモデリング、サインデザイン、他付帯デザインのブラッシュアップ、各種資料のアウトプット、プレゼンボード作成	プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	"	"		
24	《7/02成瀬12》最終プレゼンテーション資料作成5	"	"	"	"		
25	《7/16田淵13》最終プレゼンテーション資料作成6	"	"	"	"		
26	《7/16成瀬13》最終プレゼンテーション資料作成6	"	"	"	"		

27	《7/23田淵14》最終プレゼンテーション資料作成7	プレゼン資料の講師チェック	〃	〃	〃		
28	《7/23成瀬14》最終プレゼンテーション資料作成7	プレゼンボード資料の講師チェック、プレゼン原稿まとめ	〃	〃	〃		
29	《7/30田淵15》最終プレゼンテーションリハーサル、資料最終調整	プレゼンリハーサル後、資料をブラッシュアップする。	〃	〃	〃		
30	《8/05成瀬15》最終プレゼンテーション	クライアントに参加いただき、最終プレゼンテーションを行い、講評をいただく。	イメージした空間、コンセプトをレイアウトし、まとめ、伝えることが出来る。	〃	〃	プレゼン資料(最終版)提出、発表	

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_ショップデザイン\_塩澤ちひろ.xlsx

科目的ねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	建築・設計を学ぶ者としての応用編。 1.公園管理の新たな事業手法に着目。社会動向に目を向ける。2.公共性、デザイン性、魅力的なショップ選定、空間づくりが求められる「公園施設」を題材に収益施設およびあそび場について、計画・設計・プレゼンテーション力を習得する。3.課題・テーマの社会的背景、計画地の歴史、事例、現状の問題などについて調査・分析を行い、空間・デザインの観点から考えた解決策を提案する力を養う。思考的プロセスの実践。4.提案内容は比較的自由度の高いものとし、感性を養う。	なし。	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。「ダイバーシティ」をテーマに都市公園内にカフェまたは物販店舗・レストラン・インクルーシブなあそび場・園路を計画する。地域の顔となる交流と賑わいの拠点を目指し、文化的価値のある公園全体のデザイン・景観との調和・親和性を考える。1.計画地は再整備され、2023年春にリニューアルオープンした鶴舞公園の正面エリア。2.テーマの社会的背景を理解し、計画地の机上・現地調査・分析を行い、現状の問題を発見。コンセプトメイキングする。3.エスキース、図面、3DCG、模型などを用い空間・デザインを検討する。4.魅せ方・伝え方を意識した制作およびプレゼンテーションを行う。	【専門知識スキル】1.調査、問題発見、解決策の検討、提案までの一連の流れを学び、まとめる力を習得する。2.配置計画・動線計画・空間構成・インテリアにおける総合的なデザイン力の向上。3.図面・ベース・模型による空間表現の向上。【社会人基礎力】1.論理的思考力を磨く。2.自発性。3.表現方法(文章化・図式化・レイアウト)の向上。4.プレゼンテーション能力の向上。	【受講ルール等】必要な資料はGoogleドライブ内に格納、プリント配布【評価の観点】1.作品(テーマの理解度、表現、独創性、スケール感、発想力、明快なコンセプト)2.提案までのプロセス(自発性、トライ&エラー)3.プレゼンテーション(説明力、工夫、熱量)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)、課題評価(コンセプト・完成度・表現力など)、出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	「ダイバーシティ(多様性×共存)パーク」課題の説明、科目的ねらいなど説明、机上調査	課題内容、設計条件、用語(ダイバーシティ、Park-PFIなど)、社会的背景、計画地の歴史、公園の最新事例について調査。	授業の目的を理解する。	主体性、実行力	【授業運営方法】課題内容の説明。全体スケジュールの把握。【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
2	現地調査:鶴舞公園、事例調査:RAYARD Hisaya-odori Park	まず計画地近くの成功事例を見学。その後計画地にて現地調査を行う。公園全体を把握し、机上調査結果を照合・確認する。問題発見。	実際に目にした現状や周辺環境、机上調査で入手した情報から問題発見する。	主体性、実行力、課題発見力	【授業運営方法】現地調査および事例調査、【持参物】筆記用具、カメラ、メジャー、机上調査メモ、交通費	鶴舞公園、RAYARD Hisaya-odori Park	
3	レポート提出(テーマの理解、鶴舞公園の歴史、事例紹介、現状の問題について)とコンセプト発表	プレゼン形式で発表。一人3~5分程度。発表後はグループディスカッションを行い、より説得力のあるコンセプトに修正。	プレゼンテーション力とコミュニケーション力の向上。ディスカッションにより客観的に課題を整理し、コンセプトメイキングする。	主体性、実行力、課題発見力、発信力	【授業運営方法】プレゼンテーション、グループディスカッション【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC、発表用資料	レポート提出	
4	計画地の分析	調査から得た情報を基に、計画地を分析する。CADデータを製作、整理する。	既存の建物や歩道、樹木、高低差など、エスキースに必要な情報を实体化する。縮尺や等高線の考え方を習得する。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、状況把握力	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
5	エスキース	配置計画・動線計画・平面計画・断面計画と造形を検討する。	条件に沿う、整合性の取れたプランニング力を習得。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
6	"	"	"	"	"		

7	"	"	"	"	"		
8	中間発表	プレゼン形式で発表。一人5分。発表後はグループディスカッションを行う。	プレゼンテーション力とコミュニケーション力の向上。意見交換で気付きを得る。自己分析を行う。	主体性、実行力、計画力、発信力、傾聴力	【授業運営方法】プレゼンテーション、グループディスカッション【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC、発表用資料	中間プレゼン資料提出	
9	デザインチェック(図面化、ペース作成)	中間発表のフィードバック作業。図面化、3Dモデリングに着手する。	配置計画・動線計画・空間構成・インテリアにおける総合的なデザイン力の向上。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
10	"	図面化、3Dモデリングを行う。	"	"	"		
11	"	"	"	"	"		
12	"	図面、ペースの最終チェックを行う。(平面図、立面図、断面図の確認。3Dモデリング、レンダリングの確認。)	"	"	"		
13	プレゼンテーション資料作成(レイアウト、文章作り)	魅せ方・伝え方を意識したレイアウト構成を行い、プレゼンに必要な要素を確認する。論理的文章を作成する。プレゼン用に図面をブランシュアップする。	プレゼンテーション力の向上。言語的表現の習得。計画性を持って作業を進め、課題達成を目指す。	"	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC	最終プレゼン資料提出	
14	"	最終レイアウトの調整。発表の練習。	"	"	"		
15	最終プレゼンテーションと講評、総評	発表と提出。	プレゼンテーション力の向上。作品の講評を受け、自己分析を行う。他者の発表から異なる観点を知り、理解する。	主体性、実行力、計画力、発信力、傾聴力	【授業運営方法】プレゼンテーション【持参物】プレゼン資料	最終プレゼン資料提出	

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_デジタルプレゼンテーションⅢ\_田淵智子.xlsx

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
建築・インテリア設計の基盤となる平面図、断面図、立面図、配置図などの描き方を理解する。就職に有効なポートフォリオの見せ方・表現方法を習得する。Illustrator、Photoshopでの画像編集作業について学習する。	適宜プリント配布	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。基礎的なデジタル技術をしっかりと身につける必要があります。また、ポートフォリオの添削や2年次課題のブラッシュアップを行う。	【専門知識スキル】1. Illustrator、Photoshop編集の応用力を習得する。2. レイアウト表現の応用力を習得する。【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. よりよい作品にするための課題を明らかにする力(課題発見力)3. 新しい表現・作品を生み出す力(創造力)	【受講ルール等】どれほど秀作であれ期日に間に合わなければ評価しない。【評価の観点】創作した作品(表現、独創性、スケール感、明快さ等) 1 提案までのプロセス 考え方の明快さ。 2 プレゼンテーション(説明のわかりやすさ、工夫、積極性)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たない場合及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	1. 科目のねらい、到達レベル、講義計画等の説明 2. 2年次課題のレイアウトパネル講評、分析 3. 先輩のポートフォリオ分析	授業内容の説明。各自の2年次課題について改善点・修正点をレクチャーし、先輩のポートフォリオ事例の解説	授業の内容と目的を理解しする。よりよい表現方法を身に付ける。	1. 考え抜く力(想像力)2. よりよい作品にするための課題を明らかにする力(課題発見力)3. 新しい表現・作品を生み出す力(創造力)	【授業運営方法】作品データをレクチャーしながら改善点を導く【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
2	Illustratorにて平面図の着彩、図面の縮尺の合わせ方復習	平面図の色塗りを復習、ポートフォリオ作品の選定	デジタルの表現方法学び、よりよい表現方法を身に付ける	"	【授業運営方法】過去作成した平面図の着彩(デジタル)の復習【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	色塗り後の平面図	
3	VectorMapMakerの使い方	前期及び後期の課題で使用する、都市計画図をインストールできるソフトを身に付ける	"	"	【授業運営方法】VectorMapMakerを使用する【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	住宅課題の図面一式	
4	図面のチェックバック1	2年次課題の図面一式の返却及び添削	"	"	【授業運営方法】ポートフォリオ制作を進める【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
5	図面のチェックバック2	"	"	"	"	表紙、プロフィールページ、目次ページ	
6	ポートフォリオ添削1	出力する前の作品の添削。図面のスケール確認、図面の表現方法正誤確認、文章等のチェック	"	"	【授業運営方法】各自ブラッシュアップした作品の添削を講師が添削【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
7	ポートフォリオ添削2	"	"	"	"		
8	ポートフォリオ添削3	"	"	"	"		
9	ポートフォリオ添削4	"	"	"	"		
10	ポートフォリオ添削5	"	"	"	"		

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_デジタルプレゼンテーションⅢ\_田淵智子.xlsx

11	ポートフォリオデータの提出、フォローアップ1	修正したポートフォリオの提出及び他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー	制作した作品集を提出し、就職活動に活かす	〃	【授業運営方法】各自ブラッシュアップしたポートフォリオを提出【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	ポートフォリオのデータ	
12	フォローアップ2	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー	よりよい表現方法を身に付ける	〃	【授業運営方法】他科目の課題の表現方法を講師がサポート【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
13	フォローアップ3	〃	〃	〃	〃		
14	フォローアップ4	〃	〃	〃	〃		
15	フォローアップ5	〃	〃	〃	〃	未提出課題一式	

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_住環境デザイン\_鳥居信貴.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
本授業はすべて手書きで行う。1.実際にある敷地の場所性を読み取り、ラフ図を用いて設計する能力を習得する。2.構造、構法についても理解を深める。3.建築の基本とされる住居についてスケール感を持った計画を行うことでその後の設計に対する発展を目指す。4.今興味のあること、深く知りたいことに対して探求心を持って研究し、それをデザインに昇華させる訓練を行う。	特にない。	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。戸建て住宅を設計する。写真やその他敷地情報から近隣、地域分析を行いアリティの高い計画を行い、手書きの図面の作図能力の向上を狙う。また自ら相手に伝えるための要素を考え製作し、最終日に発表を行い講評を受ける。	【専門知識スキル】:課題を読み解き、想像する空間をラフ図という方法でアウトプットを行うことができ、相手に伝えるために必要な要素を主体的に考える力を身につける。【社会人基礎力】:主体性、課題発見力、想像力、柔軟性。	【受講ルール等】指定日時に指定場所へ指定された方法で提出する。【評価の観点】1.授業への取り組む姿勢2.課題作品の完成度3.プレゼンテーション能力【評価項目(評価の方法)】1.平常点(受講姿勢など)2.課題評価(コンセプト・提案力・表現力)3.出席率(但し必要出席率80%を満たない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。)			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	【授業の説明・課題発表】	本授業の狙い、スケジュール、成績のつけ方、研究する内容についての説明。	自ら設定した研究内容に対して、それを実現するための検討方法の理解を深める。	傾聴力、主体性	【持参物】筆記用具・ノート・PC(研究用)	スマホ・PC・建築見学などで研究・事例収集	
2	【各自研究】	各自研究を行い、一人ずつ進捗状況を確認する。	研究方法を自ら学び、コンセプトからデザインへ発展させるための引出を増やす。	課題発見力、想像力	【持参物】筆記用具・ノート・PC(研究用)	"	
3	【中間発表】【スケジュール作成】	研究内容、現段階での研究から導いたコンセプト、選択した敷地の発表と説明。スケジュールを立てる。	他生徒の研究からコンセプトの流れを早い段階で聞くことで、自らのデザインに取り込めるように柔軟に考える。スケジュールを立て、それを基準に進行できるように動く。	課題発見力、柔軟性	【持参物】筆記用具・ノート・PC・プレゼン資料	中間発表用資料(クラウドUP)	
4	【継続研究・エスキス】	中間発表で見えた課題などを含めて、継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。	手書きでスケッチを描きながら各種寸法を検討していく、エスキスでそれを説明する。	主体性、想像力、計画力	【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンバックス	スマホ・PC・建築見学などで研究・事例収集・案検討	
5	"	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。	"	"	"	"	
6	"	"	"	"	"	"	
7	"	"	"	"	"	"	
8	"	"	"	"	"	"	
9	"	"	"	"	"	"	

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_住環境デザイン\_鳥居信貴.xlsx

10	【継続研究・エスキス・作図】	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。手書き作図を行う。	相手に伝えられる作図、レイアウトを行うことができる。伝えるや伝わるより伝えたい気持ちを考えることができる。	主体性、想像力、計画力	【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)・本番用紙・作図に必要と各々が判断したもの	エスキス案提出(クラウドUP)	
11	【作図】	手書き作図を行う。	"	"	"		
12	"	"	"	"	"		
13	"	"	"	"	"		
14	"	"	"	"	"		
15	【プレゼン・講評】	各自作品発表を行い、講師及び生徒同士での講評を行う。	他生徒の作品を講評を行うことで、自らの作品を再評価し見直す。	状況把握力・発信力・傾聴力	【持参物】筆記用具	手書き図面提出(コピー提出、クラウドUP)	

科目のねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	「環境工学」建築において、快適な環境を実現するための知識として必要な理論について学ぶ。「建築計画」都市計画及び各種建築物に関する空間計画の基礎知識を学ぶ。	プリント配布	「環境工学」住環境の科学的基礎の学習。室内気候全般、空気環境、熱環境・光環境・音環境について人間との関わりを軸に学ぶ。「建築計画」空間計画としての必須条件と、人間の生活・行動に関わる基本的な考え方を踏まえ、各種建築物別に、全体計画及び細部計画にいたるまでの知識を習得する。	【専門知識スキル】建築に求められる環境条件を体系的にとらえて学び、それを建築の設計・計画に応用し、利用できる能力の習得を目標とする。【社会人基礎力】1. 考え抜く力(創造力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)都市計画や住環境における科学的基礎を理解することで、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】テストによる。【その他】3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	科目的狙い、到達レベル、講義計画等の説明◆温熱4要素 絶対温度、相対温度	1. 科目の狙い、2. 到達レベル、3. 講義計画等の説明、温度と熱移動	授業の目的、内容を十分理解する	1. 考え抜く力(創造力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】教科書を利用する他、動画教材やテストを適宜行う<持参物>筆記用具、ノート		
2	序章建築計画の概要・第1章計画原論(その1)	屋外環境を理解。代表的な環境問題を学び、空気・日射についての影響を理解する。	〃	〃	〃		
3	第2章計画原論(その2)	温熱環境、伝熱、結露、音響、色彩について理解する	〃	〃	〃		
4	第3章計画各論(その1)	住宅、店舗、事務所、学校、幼稚園、保育所、図書館、医療施設について理解する	〃	〃	〃		
5	第4章計画各論(その2)	さまざまな建築物の面接や細部の寸法などの計画一般と地域計画を理解する	〃	〃	〃		
6	第5章建築設備(その1)	換気設備、冷暖房設備、空気調和設備、給水設備、排水・衛生設備を理解する	〃	〃	〃		
7	第6章建築設備(その2)	電気設備、照明設備、消化・防災設備を理解する	〃	〃	〃		
8	統括総まとめ	確認テスト	〃	〃	〃		
9	第1章施工準備及び躯体工事前の工事にはどのようなものがあるか	施工計画・施工管理・地盤調査・仮説工事・土工事・山留め工事・基礎・地業工事	工事全体のはどのように進むのかを、専門用語の含め理解する	〃	〃		
10	第2章躯体工事にはどのようなものがあるか(その1)	鉄筋工事・型枠工事	鉄筋工事・型枠工事について、画像をみながら理解する。	〃	〃		

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_環境工学・計画\_武藤正彦.xlsx

11	第3章躯体工事にはどのようなものがあるか(その2)	コンクリート工事・補強コンクリートブロック工事	鉄筋コンクリート工事のコンクリート工事と補強コンクリートブロック工事について、画像を見ながら理解する	/	/		
12	第4章躯体工事にはどのようなものがあるか(その3)	鉄骨工事・木工事	鉄骨工事と木工事について、画像を見ながら理解する	/	/		
13	第5章仕上工事にはどのようなものがあるか(その1)	防水工事・左官工事・塗装工事	防水工事・左官工事・塗装工事について、画像を見ながら理解する	/	/		
14	第6章仕上工事にはどのようなものがあるか(その2)	タイル工事・建具・ガラス工事・内装工事・断熱工事	タイル工事、建具・ガラス工事、内装・断熱工事について、画像を見ながら理解する	/	/		
15	第1章～6章総括	第1章～6章の総括	第1章～6章の総括を聞き、画像を見ながら理解する	/	/		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
「建築構造」建築物の構成について知り、建築計画の参考とする。「材料」建築物の仕組みや材料についてを知り、建築計画における参考とする。	BASICレジメ よくわかる力学演習テキスト	建築構造、建築物とはどのようなものなのだろうか。どのように構成され、各部がどのような働きをもつのかを理解する。 材料、建築物はどのような材料をどのように組み合わせ、どのような方法でつくられていくのかを知る。	【専門知識スキル】【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】・平常点(授業受講姿勢など)//出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	序章 建築構造物の概要 第1章 力とは	安全である建築物を学ぶために力(合成・分析・モーメント)・力のつり合い・荷重の状態	構造の安全性の重要性について理解する。力に関する基礎的事項について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
2	第2章 反力とは	構造物(支店・節点)・反力の求め方・単純梁の反力・片持ち梁の反力・静定ラーメンの反力	反力の求め方について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
3	第3章 応力とは	応力の種類・単純梁の応力	応力とは何か、単純梁、片持ち梁、静定ラーメンにおける応力の求め方について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
4	第3章 応力とは	片持ち梁の応力・静定ラーメンラーメンの応力	応力とは何か、単純梁、片持ち梁、静定ラーメンにおける応力の求め方について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
5	第4章 応力とは	静定トラスの応力	静定トラスの応力について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
6	第4章 応力とは	静定トラスの応力	静定トラスの応力について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
7	第5章 構造物の設計とは	構造計画・構造計算	構造物の設計について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
8	第5章 構造物の設計とは	構造計画・構造計算	構造物の設計について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
9	ベーシックレジメ総括	総括	ベーシックレジメについて理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
10	序章 力学を学ぶ上での基本事項	力学を学ぶにあたって・力とは・力のモーメント・力の合成と分解	構造力学の基礎を理解する。力・モーメントの意味を理解する。力の合成、合力を理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
11	序章 力学を学ぶ上での基本事項	力のつり合い・構造物の骨組の種類と表示・荷重と反力・骨組の安定と不安定、静定と不静定	力のつり合い条件を理解する。構造物の重心・構造物に作用する外力を理解する。安定と不安定・静定と不静定を理解	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		

## 24年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_建築構造・材料\_平野芳彦.xlsx

12	第1章 静定構造物の反力	静定構造物の反力・片持ち梁の反力・単純梁の反力	建築物に働く外力(荷重と反力)がつり合い構造物が成り立つ事の理解。片持ち梁について理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
13	第1章 静定構造物の反力	静定ラーメンの反力	一端ピン、他端ピンローラーの単純梁を理解する。単純梁系ラーメン(一端ピン他端がピンローラー)を理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
14	第2章 静定構造物の反力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力	部材内に生じる力(応力)を理解する。集中荷重が作用する片持ち梁の応力の求め方を理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
15	第2章 静定構造物の反力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力	部材内に生じる力(応力)を理解する。集中荷重が作用する片持ち梁の応力の求め方を理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		

## 23年度\_後期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_構造力学基礎\_平野芳彦.xlsx

科目のねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
「建築構造」建築物の構成について知り、建築計画の参考とする。「材料」建築物の仕組みや材料について知り、建築計画における参考とする。		BASICテキスト構造、よくわかる力学演習テキスト	建築構造、建築物とはどのようなものなのだろうか。どのように構成され、各部がどのような働きをもつのかを理解する。材料、建築物はどのような材料をどのように組み合わせ、どのような方法でつくられていくのかを知る。	【専門知識スキル】【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】【その他】3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	序章 力学を学ぶ上での基本事項	力学を学ぶにあたって・力とは・力のモーメント・力の合成と分解	力学を学ぶにあたって・力とは・力のモーメント・力の合成と分解の内容を映像・小テストにより理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】講義形式<学生持参物>ノート、筆記用具、教科書		
2	序章 力学を学ぶ上での基本事項 第1章 静定構造物の反力	力のつり合い・構造物の骨組の種類と表示・荷重と反力・骨組の安定と不安定、静定と不静定・静定構造物の反力・片持ち梁の反力	力のつり合い・構造物の骨組の種類と表示・荷重と反力・骨組の安定と不安定、静定と不静定・静定構造物の反力・片持ち梁の反力を理解する	II	II		
3	第1章 静定構造物の反力	単純梁の反力・静定ラーメンの反力	単純梁の反力・静定ラーメンの反力の内容を映像・小テストにより理解する	II	II		
4	第2章 静定構造物の反力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力の内容を映像・小テストにより理解する	II	II		
5	第2章 静定構造物の反力	その他の加重が作用する静定梁の応力・静定ラーメンの応力	その他の加重が作用する静定梁の応力・静定ラーメンの応力の内容を映像・小テストにより理解する	II	II		
6	第2章 静定構造物の反力	静定ラーメンの応力	静定ラーメンの応力の内容を映像・小テストにより理解する	II	II		
7	第3章 静定トラスの応力	トラスの構造と応力・トラス応力の性質・トラス応力解析法の基礎事項	トラスの構造と応力・トラス応力の性質・トラス応力解析法の基礎事項の内容を映像・小テストにより理解する	II	II		
8	第3章 静定トラスの応力	節点法・切断法	節点法・切断法の内容を映像・小テストにより理解する	II	II		
9	第3章 静定トラスの応力 第4章 断面の性質と応力度	切断法・断面の性質とは・断面の性質を示す主な係数	切断法・断面の性質とは・断面の性質を示す主な係数の内容を映像・小テストにより理解する	II	II		
10	第4章 断面の性質と応力度	断面一次モーメント・断面二次モーメント	断面一次モーメント・断面二次モーメントの内容を映像・小テストにより理解する	II	II		

11	第4章 断面の性質と応力度	断面係数・断面二次半径・応力度と許容応力度	断面係数・断面二次半径・応力度と許容応力度の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
12	第4章 断面の性質と応力度	応力度と許容応力度・座屈	応力度と許容応力度・座屈の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
13	第5章 変形と不静定構造物	部材の変形	部材の変形の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
14	第5章 変形と不静定構造物	不静定構造物・不静定梁・分割モーメントと到達モーメント	不静定構造物・不静定梁・分割モーメントと到達モーメントの内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
15	第5章 変形と不静定構造物	分割モーメントと到達モーメント・不静定ラーメン	分割モーメントと到達モーメント・不静定ラーメンの内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		

科目のねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	建築基準法をはじめとする建築関連法規の学習をする。	教科書、プリント配布	建築物には、法律によって様々な制約が定められている。実際の建築物のデザインを行うにあたって必要となる建築関連法規に関する基礎知識を習得する。実際の生産にあたって企画・設計・施工を理解した上でマネージメントすることが重要であり、その基礎知識を習得する。	【専門知識スキル】建築基準法の意義、基礎的な法文、法律用語の意味や意義などを理解できるようになること。 【社会人基礎力】1. 考え抜く力 2. 前に踏み出す力(主体性) 3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。 【評価の観点】内容理解について 【その他】3～4人のグループワークも適宜取り入れ実施。 【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明。建築デザインと建築法規について。建築基準法の基本定義	1. 建築基準法とはBASIC1	授業の目的、内容を十分理解する	1. 考え抜く力(想像力) 2. 前に踏み出す力(主体性) 3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】教科書を利用する他、動画教材やテストを適宜行う<持参物>教科書、筆記用具、ノート		
2	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明。建築デザインと建築法規について。建築基準法の基本定義	1. 建築基準法とはBASIC2	〃	〃	〃		
3	建築基準法のしくみ・用語の定義(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法別表第I、令1条、令107条～109条の3、令115条の3	〃	〃	〃		
4	建築基準法のしくみ・用語の定義(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法別表第I、令1条、令107条～109条の3、令115条の3	〃	〃	〃		
5	面積・高さ等の算定方法(1) 確認申請・手続等、一般構造規定	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法6条～18条、法85条、87条、88条、令137条の18、138条、146条、法19条、法28条～33条、令19条～35条、令129条の2の5	〃	〃	〃		
6	面積・高さ等の算定方法(2) 確認申請・手続等、一般構造規定	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法6条～18条、法85条、87条、88条、令137条の18、138条、146条、法19条、法28条～33条、令19条～35条、令129条の2の5	〃	〃	〃		
7	構造強度、大規模建築物、法22条区域内、特殊建築物、防火地域、準防火地域(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法20条、法21条、令36条～99条、法22条～法27条、法61条～66条、法別表第1、令115条の3	〃	〃	〃		
8	構造強度、大規模建築物、法22条区域内、特殊建築物、防火地域、準防火地域(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法20条、法21条、令36条～99条、法22条～法27条、法61条～66条、法別表第1、令115条の3	〃	〃	〃		

9	防火区画、内装制限、避難施設等(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法35条の3、令111条～114条、法35 条の2、例128条の3の2～128条の5、 法35条、令116条の2～128条の2、令 128条の6～129条の2	〃	〃	〃		
10	防火区画、内装制限、避難施設等(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法35条の3、令111条～114条、法35 条の2、例128条の3の2～128条の5、 法35条、令116条の2～128条の2、令 128条の6～129条の2	〃	〃	〃		
11	道路・壁面、用途地域、容積率(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法41条の2～47条、法68条の9、令 144条の4、法48条～51条、法別表第 2、令130条の3～130条の9の8、法52 条、令135条の18、令135条の19	〃	〃	〃		
12	道路・壁面、用途地域、容積率(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法41条の2～47条、法68条の9、令 144条の4、法48条～51条、法別表第 2、令130条の3～130条の9の8、法52 条、令135条の18、令135条の19	〃	〃	〃		
13	建ぺい率、高さ制限(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法53条、令135条の20、21、法55条 ～56条2、法別表第3・同4、令130条 の11～135条の13	〃	〃	〃		
14	建ぺい率、高さ制限(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法53条、令135条の20、21、法55条 ～56条2、法別表第3・同4、令130条 の11～135条の13	〃	〃	〃		
15	統括総まとめ	確認テスト	〃	〃	〃		

## 23年度\_後期\_TSD\_総合デザイン\_3年\_プロジェクト型\_伊藤・布施・馬場・田淵.xlsx

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
総合デザイン学科で身につけた幅広い視点を生かし各コースが協力して産学協同にて課題に取り組む。実社会に出る前にビジネスとマナーを実践し地域貢献と共に福祉について考察する。	各講師に準ずる	《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。中日本エクシス株式会社様の各事業に対して、デザインアイディア提案を行う。3..コースが協力して成果物を作成する。	【専門知識スキル】:スケジュール管理能力。/質の高い作品、完成度の高い作品を判別する眼。/チームによる連携を生かす能力 【社会人基礎力】:・計画力・主体性・実行力・傾聴力・柔軟性・状況判断力・規律性・ストレスコントロール力	【受講ルール等】:専門分野(ビジュアル、CG、インテリア)講師が学生からのリクエストに対し専門性の高いアドバイスを実施。/講師間の申し送り事項は、1../週に行われる全体授業で把握されている。講師個別で判断しにくい状況が生じた場合は富田が判断を下す。【採点基準】:・時間的な蓄積を感じること・出席率・〆切が厳守された課題の提出		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	1.クライアントレクチャー＆現地観察。(9月19日) 2.科目の狙い講義計画等の説明。 3.【第一課題】テーマ作成	【チーム毎に課題に取り組む】。テーマ&コンセプトシート制作(A4一枚程度)	チームの力を生かしたテーマを作成できる。他業種で構成されたプロジェクトの運営・管理・情報伝達の理解。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【授業運営方法】:導入レクチャーの後、各自制作予定の内容をA4一枚程度にまとめる【持参物】:メモ帳、PC	中日本エクシス株式会社様来校
2	【第一課題】テーマ作成	提案の対象を定め、どのような魅力を付加するかを考察しテーマを作成する。	テーマシートを制作できる。(タイトル、成果物)。	〃	【授業運営方法】:週に一回全コース合同で情報共有を行うと共に、各コース毎の授業において密度を上げる。【持参物】:メモ帳、PC	
3	〃	〃	〃	〃	〃	
4	【第二課題】プランニング作成	テーマに基づきプランニングシートを作成。	1.プランニングシートを作成できる。テーマを元に ターゲット、コンセプト、成果物、提供する価値等を立案する。 2.スケジュール表(役割等)	〃	〃	
5	〃	現地での情報を元にプランニングを修正する・スケジュール制作・役割分担表制作	〃	〃	〃	
6	〃	〃	〃	〃	〃	
7	〃	〃	〃	〃	〃	
8	「中間プレゼンテーション」事前意見交換会(10月13日) ※エクシス様へ提出	中間プレゼンテーション前にプランニング内容を発表し、作品の内容についてお互いに意見交換を行う	聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションが構成でき、他人からのアドバイスをプランに繋げさせ修正できる。	〃	【授業運営方法】:アクティブラーニング	
9	修正			〃	【持参物】:メモ帳、PC、プレゼンツール	
10	「中間プレゼンテーション」(10月20日)	プランニング内容を発表し、作品の内容についてプレゼンし中日本エクシス株式会社様の意見聞く	聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションが構成でき、他人・企業様からのアドバイスをプランに繋げさせ修正できる。	・主体性・発信力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【授業運営方法】:アクティブラーニング	中日本エクシス株式会社様来校

11	〃	〃	〃	〃	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
12	【第三課題】制作	プランニングに従い制作物の作成を行う。	スケジュール作成が出来る。成果物を担当と工程ごとに時系列で管理・共有する。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【授業運営方法】:週に一回全コース合同で情報共有を行うと共に、各コース毎の授業において密度を上げる。【持参物】:メモ帳、PC		
13	〃	〃	〃	〃			
14	〃	〃	〃	〃	〃		
15	〃	〃	〃	〃	〃		
16	〃	〃	〃	〃	〃		
17	〃	〃	〃	〃	〃		
18	〃	〃	〃	〃	〃		
19	〃	〃	〃	〃	〃		
20	(12月13日) ※エクシス様へ提出	〃	〃	〃	〃		
21	〃	〃	〃	〃	〃		
22	最終プレゼン(12月22日)学内	11チーム、各コース毎にプレゼンを行い総合力としてアピールする。	聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションができる。プレゼン内奥を構成しクライアントに魅力を伝える。	・主体性・発信力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【持参物】:メモ帳、PC、プレゼンツール	中日本エクシス株式会社様来校	
23	【第四課題】展示物制作	1.修正作業 2.卒業制作の展示物作成。(B2パネル×4、企画書×1、サンプル(movie)×1.式)	第三者に伝わる制作物の作成ができる。展示条件の中でグループの特色を生かした展示。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【持参物】:メモ帳、PC		
24							
25	〃	1.パネル原寸大モノクロプリントのチェック→入稿。2.展示サンプル制作等	〃	〃	〃		
26	〃	〃	〃	〃	〃		
27	〃	〃	〃	〃	〃		
28	〃	〃	〃	〃	〃		
29	【最終入稿】【第五課題】振り返り(2月1日)	振り返りシートの作成。本課題に対しての良かった点、改善したほうが多い点を共有する。	振り返りシートの作成ができる。プロジェクトを振り返りPDCAサイクルを理解する。	〃	〃		
30	〃	〃	〃	〃	〃		

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
地域の歴史や文化、地場産業など幅広くリサーチし、それを踏まえた上でのインテリアの空間(住空間・商空間)を提案し、図面、ベース、模型、パネルに仕上げていく力を習得する。卒業制作のテーマに沿って、それぞれの学生が自分が制作した作品を社会へ提案をする力を身につける。	特になし	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。各自設定したテーマに対してどのような空間・建築物を想定するか・具体的な事例リサーチおよび研究・敷地の設定および情報収集・配置計画・プラン計画など計画に基づいたプランニング・空間の独自性、魅力を具体的設計にどのようにもりこんでいくか・製図、模型制作、CGベースなど具体的な表現、プレゼンテーション作業	・社会的な客観性、デザイナーとしての独自な視点や提案などをもとに空間や建築物を提案する能力を持つこと。・製図、ベース等による表現技術(ベクターワークス、スケッチアップ、ツインモーション、ルミオン、イラストレーターなどPCソフト)の習得、あわせてプレゼンパネルにおけるレイアウトデザイン技術	【評価の観点・方法】平常点(授業姿勢など)、課題評価(コンセプト・完成度・表現力など)、出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。)			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	【田淵01】9/25全体スケジュールについて	今後のスケジュールを作成し各自スケジュール管理を自分で行う事の再確認	授業の目的を理解する。事例研究、コンセプト確認	主体性、実行力、想像力、課題発見力、計画力	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】スケッチブック、敷地図、敷地写真等。筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料		
2	【内藤01】9/26テーマ及び敷地の再確認(内藤ゼミ)	テーマ及び敷地を再確認しその問題点を洗い出す。テーマの問題点を早い段階で発見し軌道修正を行う。選定した敷地、提案しようとしている物の規模、それらが適したものであるかどうか	〃	〃	〃		
3	【井村01】9/27テーマ及び敷地の再確認(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
4	【田淵02】10/02中間プレゼンテーション内容発表	中間プレゼンテーションの内容の詳細を伝える。それに向けて進める	〃	〃	〃		
5	【内藤02】10/03テーマ及び敷地の決定(内藤ゼミ)	設計主旨、建物概要の決定。大まかな設計ボリューム、配置計画、プラン等の方向性を考える。提案しようとしている空間イメージのラフスケッチ、手描き図面を進める	作品の方向性の確定	〃	〃		
6	【井村02】10/04テーマ及び敷地の決定(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
7	【内藤03】10/10ラフ案チェック(内藤ゼミ)	選定した敷地に対する計画性、規模の確認。敷地周辺状況との動線、機能上の確認。スタディ模型を製作	具体的な案への落とし込み	〃	〃		
8	【井村03】10/11ラフ案チェック(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
9	【田淵03】10/16敷地写真及び敷地図のチェック	選定した敷地の写真及び敷地図の確認	〃	〃	〃		

10	【内藤04】10/17ラフ案チェック(内藤ゼミ)	提案を具体的なレベルに上げて行く。コンセプトを元にデザインが進められているか確認。建物用途に則した平面計画はできているか、適切が空間の規模を抑えられているか。魅力的な空間創造に繋がるような断面計画などデザインのベース造りを進める	〃	〃	〃		
11	【井村04】10/18ラフ案チェック(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
12	【田淵04】10/23中間プレゼンテーション エスキスチェック	これまで進めてきた内容の再確認。それぞれ作図作業を進める。空間のデザイン性を高める。中間プレゼンテーションに向けた作業	計画内容の確認。ボリュームチェック	〃	〃		
13	【井村05】10/25中間プレゼンテーション エスキスチェック(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
14	【田淵05】10/30中間プレゼンテーション エスキスチェック	〃	〃	〃	〃		
15	【内藤05】10/31中間プレゼンテーション エスキスチェック(内藤ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
16	【井村06】11/01中間プレゼンテーション 準備	中間プレゼンテーションに向けて、スライド資料制作、発表練習を行う	計画性を持って準備を行う	〃	〃		
17	【田淵06】11/06中間プレゼンテーション 準備	〃	〃	〃	〃		
18	【内藤06】11/07中間プレゼンテーション	各種図面、スケッチ(スタディ模型)、手描きパース等と1人5~7分ほどの口頭説明を行い提案発表を行う。講評、質疑を受けて計画内容の訂正すべき箇所を確認していく	現計画案の発表および確認	〃	【授業運営方法】中間発表【持参物】筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料	スライドデータ	
19	【井村07】11/08中間プレゼンテーション後の訂正(井村ゼミ)	中間発表で確認できた問題点等をふまえて提案内容の再設定を行う	提案内容のレベルアップ	〃	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】スケッチブック、敷地図、敷地写真等。筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料		
20	【田淵07】11/13中間プレゼンテーション図面チェック	〃	〃	〃	図面一式(印刷物)		
21	【内藤07】11/14中間プレゼンテーション後の訂正(内藤ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
22	【井村08】11/15最終プレゼンテーション 作業制作(井村ゼミ)	中間発表で確認できた問題点等をふまえて、より提案・デザインの密度を高めていく。図面の製図作業、パースの制作	計画性を持って準備を行う	〃	〃		
23	【田淵08】11/20最終プレゼンテーション 内容発表、中間プレゼンテーション図面チェック	最終プレゼンテーションの内容の詳細を伝える。それに向けて進める	最終プレゼンテーションの内容確認	〃	〃		

## 23年度\_後期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_卒業制作\_井村\_内藤\_田淵.xlsx

24	【内藤08】11/21最終プレゼンテーション 作業制作(内藤ゼミ)	中間発表で確認できた問題点等をふまえて、より提案・デザインの密度を高めていく。図面の製図作業、ペースの制作	計画性を持って準備を行う	〃	〃		
25	【井村09】11/22最終プレゼンテーション 作業制作(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
26	【田淵09】11/27周辺環境地図提出	〃	〃	〃	〃	周辺環境地図(PDFデータ)	
27	【内藤09】11/28最終プレゼンテーション 作業制作(内藤ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
28	【井村10】11/29最終プレゼンテーション 作業制作(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
29	【田淵10】12/04タイトル決定	作品タイトルを決定する	〃	〃	〃		
30	【内藤10】12/05最終プレゼンテーション 作業制作(内藤ゼミ)	より提案・デザインの密度を高めていく。図面の製図作業、ペースの制作	〃	〃	〃		
31	【田淵11】12/11最終プレゼンテーション 作業制作	〃	〃	〃	〃		
32	【内藤11】12/12最終プレゼンテーション 作業制作(内藤ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
33	【田淵12】12/18模型制作について 縮尺、印刷	適切な模型の縮尺を決定するため、縮尺を合わせて印刷する	〃	〃	〃	模型の縮尺に合わせた印刷物	
34	【内藤12】12/19模型縮尺決定、冬休み前の確認(内藤ゼミ)	ゼミの講師と相談し、模型の縮尺を決定する。また、冬休み中のスケジュール確認を行う	〃	〃	〃		
35	【井村11】12/20模型縮尺決定、冬休み前の確認(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
36	【内藤13】1/09最終プレゼンテーション 制作物チェック(内藤ゼミ)	冬休み後の成果物の確認	プレゼンテーションへの具体的な作業移行	〃	〃		
37	【井村12】1/10最終プレゼンテーション 制作物チェック(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
38	【田淵13】1/15最終プレゼンテーション スライドデータチェック	最終プレゼンテーションの成果物の確認	〃	〃	〃		

39	【井村13】1/17最終プレゼンテーション スライドデータチェック(井村ゼミ)	〃	〃	〃	〃		
40	【田淵14】1/22最終プレゼンテーション スライドデータチェック	〃	〃	〃	〃		
41	【内藤14】1/23最終プレゼンテーション スライドデータ提出	最終プレゼンテーションの発表資料の提出	最終プレゼンテーションの確認	〃	〃	PDFデータ	
42	【井村14】1/24模型制作	最終プレゼンテーションの模型制作	〃	〃	【授業運営方法】模型制作【持参物】筆記用具、ノートパソコン、模型制作道具一式他必要だと思う資料		
43	【田淵15】1/29模型制作	〃	〃	〃	〃		
44	【内藤15】1/30模型制作	〃	〃	〃	〃		
45	【井村15】1/31模型制作	〃	〃	〃	〃		

## 24年度\_前期\_TSD\_総合デザイン\_3年\_就職研究 I.xlsx

科目のねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己的就職先を決定する1年となる。本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。	キャリアガイドブック、参考資料	《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。	【専門知識スキル】:卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を獲得することができる。 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。	【受講ルール等】:1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業で必要があれば学生へ返却 【評価の観点】:1、必要出席率(80%)を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認(認定)であること 【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施 【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)、課題評価、出席率。ただし出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等 授業外学習・宿題・提出課題 等 重要用語・キーワード*(任意)		
1	就職活動状況の自己査定 企業研究、採用のポイント／春休み活動把握	春休みの就職活動の査定 企業サイトの見るべきポイント、何を調べるか、どこを見るかを知る	就職に向けた自己査定を行う、春休み中の活動のまとめを行う、エントリー社数を報告する。企業SNSやHPから情報を読み解き、採用試験に活用する	傾聴力、主体性、計画力	【授業運営方法】:講義 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具		
2	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成／志望動機以外の項目の見直し／春休み活動把握	面談実施、冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択、エントリー	エントリーシートや履歴書など応募書類を完成させる。	傾聴力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
3	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成／志望動機以外の項目の見直し／春休み活動把握	面談実施、冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択、エントリー	エントリーシートや履歴書など応募書類を完成させる。	傾聴力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
4	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセントラルツアーエントリー企業検索(情報センターで実施)	書類選考に通る為の企業ごとの特性を踏まえたポートフォリオを作成する	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料、ポートフォリオ		
5	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセントラルツアーエントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
6	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセントラルツアーエントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
7	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセントラルツアーエントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		

8	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
9	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
10	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
11	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
12	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
13	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
14	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
15	活動状況把握／未内定者は5名程度にグループングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセントーツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		

## 23年度\_後期\_TSD\_総合デザイン\_3年\_就職研究Ⅱ.xlsx

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己的就職先を決定する1年となる本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。	キャリアガイドブック 参考資料	《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界実務経験がある教員が担当する。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。	【専門知識スキル】:卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を得ることができる。 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。	【受講ルール等】:1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業で必要があれば学生へ返却 【評価の観点】:1、必要出席率(80%)を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認(認定)であること 【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施 【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)、課題評価、出席率。ただし出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
2	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
3	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
4	[PROGテスト実施]就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	[PROGテスト実施]一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	[PROGテスト実施]内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
5	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談 CG2名キャリアセンターで活動	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
6	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		



23年度\_後期\_TSD\_総合デザイン\_3年\_就職研究Ⅱ.xlsx

15	授業を振り返って	就職活動を振り返って自分が得たことと今後の展望をディスカッション。	自分自身が苦労したことを今後の社会人活動に活かす。	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
----	----------	-----------------------------------	---------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	--	--

